

研修旅行（北海道）参加報告

平成30年10月9日（火）～12日（金）

銀河学院高等学校 3年

青山 小詠

喜多 健士郎

長川 将人

吉森 彩理

北海道研修旅行



北方領土 について 学んだ事



当時のようす

●産業

豊富な水産資源に恵まれており，水産業を主要産業としていた。

他に，林業や農業，畜産業，鉱業なども盛んだった。



●くらし

人口は4島あわせて1万7000人以上
39の国民学校があり、
約3000人の児童もいた

色丹島の学校で行われた
運動会



●くらし

人口は4島あわせて1万7000人以上
39の国民学校があり、
約3000人の児童もいた

神社のお祭りに参加する
歯舞群島の人びと





占領までの経緯



1799

日本が北方4島を領有

1855

日露通好条約

→択捉とウルップの境界を確認

1875

樺太千島交換条約

→樺太を放棄する代わりに千島列島を獲得

1905

ポーツマス条約

日露戦争の結果，北緯50度以南の樺太
を獲得

1945

ソ連が対日参戦

WWⅡ終戦後，北方4島を占領

1946

ソ連が4島を「編入」

米大統領，
英首相と，
ヤルタ会談に
おいて密約を
締結

1948

日本人を強制退去

1951

サンフランシスコ平和条約
締結

1956

日ソ共同宣言

→ソ連との国交回復

ソ連不参加

ソ連は平和条約
締結後に齒舞、
色丹の二島の
引き渡すと規定

返還にむけて

● 最初の返還運動

1945年，根室町長・安藤石典が4島返還の陳情書を製作。その後，北海道～全国へ運動が広がる。



広がる返還運動

● 返還への署名運動

返還についての国民の意思を伝えるため、
今も署名活動が行われている。
2018年の時点で約9000万人の署名が集まっている。

●理解を深める ための活動

北方領土を
テーマにした
アニメ映画
「ジョバンニの島」
(2014年)



● 数々の返還交渉

日露首脳会談等を通じて議論が行われ、日ソ共同声明(1991)、東京宣言(1993)、イルクーツク声明(2001)などの、平和的解決に向けた努力が積み重ねられている。



日ソ共同声明（東京平成3年4月）

★ロシアが返還したから ないのはなぜ

- 1 北方領土が暖流・寒流の交わる絶好の漁場であること。
- 2 現地にロシア人が住んでいること。
- 3 返還後の北方領土にアメリカが軍を配置するのを危惧していること。

平和的解決にむけて

● 二島返還論

まずは平和条約を結び、歯舞群島・色丹島の2島返還を実現する

※ロシア側は詳細が不明確との懸念
→2019年の日露首脳会談で暗礁に

●外交の工夫

★秋田犬外交

2012年に東日本大震災支援のお礼として秋田犬の「ゆめ」をプーチン大統領に贈呈。安倍総理大臣とともにゆめとふれあう姿も「キュートな外交」とアメリカでも話題に





●交渉のキは信頼関係の構築

プーチン大統領は就任直後から日ソ共同宣言の有効性を認め、領土問題解決に意欲をみせている。また、ロシア国民にも親日家が多く、良い関係を築くことは不可能ではない。

実際に北方領土を見て



尾岱沼クルーズ・野付半島トレッキング



野付半島から国後島まで 16 km



野付半島から望む国後島



知床半島から望む国後島 (バス車窓)



元島民の方との交流



元島民の方との交流

元島民の方々から聞いた話

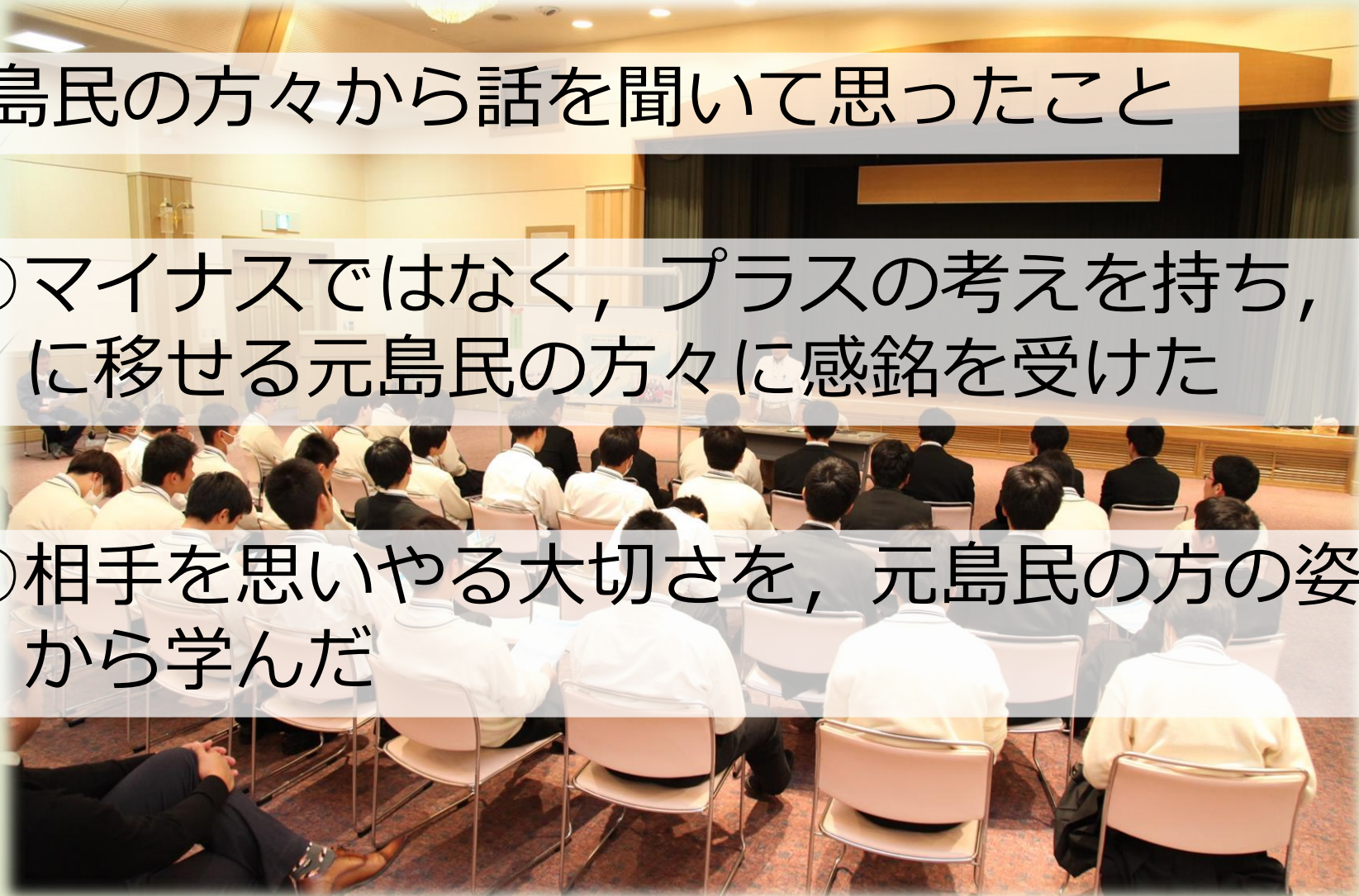
- 生まれ故郷を奪われた憎しみの話ではなかった
- 現在住んでいるロシア人の方々との交流の話
- 現在のお互いを知り、交流し、共に歩んでいく道を模索する姿勢

元島民の方との交流

元島民の方々から話を聞いて思ったこと

○マイナスではなく、プラスの考えを持ち、行動に移せる元島民の方々に感銘を受けた

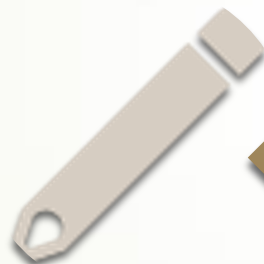
○相手を思いやる大切さを、元島民の方の姿勢から学んだ



考えたこと



日本・ロシアともにお互いに
歩み寄る姿勢



正しい知識を持ち、
理解を深める



返還にむけた意思を地域世代を
超えて共有

